

1: 出席者

加藤^a・大西^b・片山・能登・大塚^c・吉田^c・セルゲイ^c・鈴木^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 天体核物理の科研費(特定領域)に参加する。(加藤)
- IAEA 会議報告。(大塚)
 - 議事録のドラフトが完成しているので、変更がある場合は 11 月末まで。
 - ロシアより崩壊データに関する共同研究を提案された。
- 辞書ワーキンググループ報告 (第 16-19 回、詳細については資料参照) (能登)

3: 議論

- D1540 の fig. 2, 3 の誤差の取り方について (承認)
 - 対数尺度で上下非対称の誤差に見えるが、統計誤差であるので、数値としては上の誤差を採用し対称誤差として採録する。
 - この状況に関する情報をコメントとして入力することとする。
- EXFOR の文献コードに人名が使われているコード (データのコンパイルレーションなどの単行本) が NRDF の辞書に自動的に追加、更新されている。(承認)
- gamma の Intensity については相対的な強度が測られているもののみであるため、INTNSTY-GAMMA を使うことにする。(INTNSTY, REL-INTNSTY-GAMMA は obsolete にする) (承認)
- 著者の使う用語と NRDF での定義が違う場合の対応について (古い analyzing power, polarization に関して)
 - 現在のコードの定義にもとづいて採録を行なう。(承認)
- XSECTN の取り扱いについて (以下を承認)
 - 採録においては H 型に SIGMA, V 型に XSECTN を用いる。
 - SIGMA の展開形を total cross section から cross section に変更する。
 - 以下のコードを obsolete とする。(V="XSECTN", H="SIGMA" で採録)
 - ◇ DSIGMA/DA (V, H 型) : Isobaric cross section
 - ◇ XSECTN-LEVEL (V, H 型) : Cross section for individual final product
 - ◇ XSECTN-YIELD (V, H 型) : Cross section for overall yield
 - Total cross section, fission cross section, (total) reaction cross section に関しては利用システムで検索可能な状況にすることを旨とする。検索システムの更新後、次のような辞書更新を行なう。
 - ◇ TOT-XSECTN (V 型) : total cross section を obsolete とする。

- ◇ 核分裂断面積、反応断面積についての採録を以下のようにする。
 - 核分裂断面積は $RCT=A(a, \text{FISSN})$; $RTY=\text{FISSN}$; $V=\text{"XSECTN"}$; $H=\text{"SIGMA"}$ とし、 FISSN-XSECTN (V, H 型) を obsolete する。
 - 反応断面積 $RCT=A(a, X)X$; $RTY=\text{NON-ELA-SCATT}$; $V=\text{"XSECTN"}$; $H=\text{"SIGMA"}$ とし、 TOT-RCT-XSECTN , RCT-XSECTN を obsolete とする。
- ◇ Cross section の採録法については LEXICON で定義することとする。
- 以下のマスターファイルの修正を行なう。(EMIT の obsolete (EMT に変更) に伴う修正) (承認)

(D378 D781 D1127 D1129 D1165 D1235 D1375 D1408 D1445 D1446 D1448 D1449 D1450 D1451 D1452 D1453 D1459 D1461 D1464 D1466 D1473 D1474 D1475 D1476 D1477 D1479 D1481 D1482 D1484 D1495 D1548 D1549 D1550 D1551 D1552 D1553 D1557 D1577 D1585 D1586 D1587 D1588 D1678)
- Intensity に関連したマスターファイルの修正を行なう。(承認)

INTNSTY のコードを使っているファイルは 2 編を除き、gamma 線の INTNSTY を指しているので、INTNSTY-GAMMA に統一する。2 編については INTENSTY を DATA に置き換える。
- D1595, D1639, D1732 を以下の理由でマスターファイルから削除することが提案された。
 - D1595, D1639 : ${}^6\text{Li}(p,n){}^7\text{Be}$ の中性子データの論文 (中性子源としての荷電粒子反応であるという意見があるため継続審議とする)
 - D1732 : D1740 ですでに取られた論文 (承認)
- 新規コード
 - (DELTA-)KNN (H 型) : (Error in) Polarization transfer parameter $K(N'N)$
 - THTL-INTRM (H 型) : Scattering angle theta of intermediate nucleus in lab. system
 - B (V 型 クラス 14) : b (barn)
 - GE.O2 (V 型 クラス 8.3) : GeO_2
- 科研費のタイトルについて (承認)
 - “NRDF-A (Nuclear Reaction Data File for Astrophysics)” を用いることとする。
- IAEA の議事録について(承認),
 - 本来 Center head meeting で議論すべき内容が今回の technical meeting で議論されている点に関して JCPRG の意見を報告する。

4: 次回

2005 年 12 月 22 日 18:30~